



# 花に癒され、心豊かに。 日常に彩りをプラスする

豊岡いけばな協会 会長  
未生流但馬支部 副会長

もりもと さちこ  
**森本 幸子さん**

中郷在住。叔母がいけばな教室を始めたことをきっかけに、自身も高校生からいけばなを始める。進学で豊岡を離れた時期も帰省した時は花に触れていた。現在は親先生の教室を引き継ぐ形で師範として教室を運営している。流派の研究会等で日々研さんを重ねる。



▲本年は4月19日、20日に市民会館で「豊岡いけばな合同展」が開催された

自然が好きで、きれいなものに触られることがとても楽しいです。振り返ると長い時間、いけばなと共に過ごしてきました。私にとって花の持つパワーは、ビタミン剤のようなものです。花を挿けていると、ほっとしたり、気持ちが落ち着いたりします。また、いけばなを通して、日本の伝統や四季の移ろいに触れることができる場所は、大きな魅力の一つだと感じます。

豊岡いけばな協会では、年に一度花展を開催しています。私たち会員が挿けた花の展示とともに「こども

いけばな体験教室」コーナーがあり、子どもたちが花に触れる体験会も開催しています。子どもたちの感性はすばらしく、体験を終えた子どもたちは皆、得意気な表情をしています。

「いけばな」と聞くと、作法があり難しいと感じる方もいるかもしれませんが、興味があれば花を一輪挿してみるところから始めてもらえたら嬉しいです。近くの教室に一度見学に行ってみてください。

## Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—



出石中学校で7月4日に出張市長室が開かれ、総合学習の時間に行った「出石の良いところ、改善点と感じた事」など、調べ学習の成果を生徒が市長に直接伝えました。

門間市長は「良く調べて、考えてくれたことが伝わりました」と感心していました。生徒はこの学習で、出石のまちや経済に興味を持つきっかけになったと振り返りました。

出張市長室  
出石中学校生徒が市長に学習の成果をプレゼン



世界の一流ホテルコンシェルジュ※組織「レ・クレドールジャパン」の広報誌に、本市が掲載されました。日本を代表する最高峰のホスピタリティ(おもてなし)専門家で、明海大学教授の阿部 佳さんなど、一流ホテルのチーフコンシェルジュの皆さんが本市を視察、城崎温泉や玄武洞、出石などの魅力取材し、今回の掲載に至りました。

広報誌は、世界のホテルマネジメント層などへ発信され、本市の魅力を世界へ届ける貴重な機会となりました。

※客のさまざまな要望に応え、案内やサポートを行う人のこと。

レ・クレドールジャパン広報誌に  
豊岡が登場



豊岡市 SNS



各施設・事業の SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。